

# 「平和憲法か武力か」考える時期です!

—— 今回の衆議院選挙で考えさせられたこと ——

(下記文章は 2021/11/26 中日新聞紙上での宮城県主婦の方からの投書文の抜粋です)

先の衆院選では各政党が「平和憲法を考えているか否か」という構図の中で「日本がいつ敵に攻められるかわからない。国内の不正より憲法を変えて武力で守らねば」という政党に一票を投じた有権者が多くいたように思います。

私が東日本大震災の時、津波によって破壊された光景を前に呆然としていましたら「こんなの戦争に比べたらまだよ!」という言葉が飛んできました。また、コロナ禍の話をお年寄りとしている時「な～に、食べるものはあるし、爆弾を落とされる訳じゃないし、戦争に比べたらなんでもないよ」という言葉も聞かされました。万が一、日本が戦争に巻き込まれることになったら、平和憲法と外交で日本は守られるのか? 武力で解決できるのか? 国民の払う代償はどれほどか? 有権者には客観的なデータを示してほしい。人生の先輩方には戦争の真実を教えていただきたい。

そして、自分が直面するかもしれない問題として考えなければならないのです。

私たち「九条の会」は新聞の投書が投げかけている問題に向き合わねばなりません。そのため、様々な意見を交換しあい、学び合える「憲法カフェ」を再び、開きたいと計画しております。その際には、皆さま!是非!ご参加ください!!

## 長良・岩野田 九条の会だより

No.174  
2021年  
12月号

事務局連絡先: 林  
090-6769-9809



★平和の集いのDVD(チェさんのピアノ・金平さんの講演)あります。観たい方はご連絡ください(林まで)

★十九日(日)十時半より岐阜総がかり行動「憲法が危ない! 戦争する国にするな・命と暮らしを守ろう」

清水緑地公園(刃岐阜駅南側)デモ 十一時十分より

※長良九条の会(現在は長良・岩野田九条の会)は二〇〇六年九月三十日、発足しました。この十五年余りの活動を振り返って、今回の衆議院選挙の結果はどうだったのか。残念だったと言う他はありません。野党共闘がなされなかったらもっと手ひどいことになっていたことは否めません。しかし、政権交代が出来なかったのだから、結果は同じ。私はあれこれ忙しく、家のこともしながらやっていたことを言い訳にして、大事なことを見失っていたのではと、自省しています。続けることにのみ専念して、活動がマンネリ化していたのでは。結局のところ生きるとは、(大げさな表現ですが)「人と人とのつながり」にある。そう思う昨今。今回の選挙においても600名もの九条の賛同者の方々との日常的なつながりを強固なものにしていくことを肝に命じていきたい。だから、どうかこの会報を手にしていただいた皆様、あなたの思いを伝えてほしい。良い事ばかりでなく、反対の意見も聞けたら嬉しい! みんなそれぞれ違っているのですから。

(平塚)



※今の生活に満足していますか? 長時間労働・低賃金、物価高、余暇なし。楽な生活は出来ていません。自民党の政治が続けばもっともつと苦しくなるのに、どうして選挙で自民党を選ぶ人が多いのか。憲法を変えて戦争が出来る国にしようとしているのは、絶対反対です。戦争をしない憲法九条を守る政党に政権交代しなければならぬ。国民がもっと現実を知らなければと思う

(林 雅子)